

知床の窓から見えるもの

2015年9月29日（火曜日）

「移住体験モニターさん やってくる！！」

皆さん、こんにちは。
久しぶりのブログリレーに参加します。

移住体験モニターは、北海道の事業で、移住に興味のある農業や観光・医療や福祉・保育など様々な職種の方に広く呼びかけて、各市町村が「ウエルカム体制」をとり、自分たちの町を体験してもらおうという事業です。

わが町 羅臼町は、「看護師体験」を募集しました。
都会から、知床の大自然に憧れて、ひとりの看護師さんがやってきました。

診療所体験では、訪問看護や病棟体験・入浴の介助までしていただきました。
急性期の大きな病院ですと、業務が分かれており、その一部分の業務を担っているため、患者さんの背景や自宅に帰るといったイメージが抱けなかつたりしますよね。

その点、小さな町の小さな診療所では、それがダイナミックに感じることができます。その患者さんが、家に帰るために、知恵を出し合って様々な工夫をします。

都会のモニター看護師さん、「家族みたい・・・」という感想。
「患者さんとの距離が近い」という表現をよく聞きます。私たちは、ごく普通のことなのですが、都会の医療や看護とはまた違った印象なのでしょうね。

道外の方が、皆さん心配されることが「冬の過ごし方・雪との暮らし方」ですよね。
ぜひ、流氷が到来する真冬にも足を運んで頂き、冬の魅力も体験してほしいです。

スタッフ一同お待ちしております

(^^)/

